

## 平成の名刀・名工展 応募用紙 (赤字記入見本)

氏名	日本 太郎	刀工銘	△△	生年月	西暦1950年 1月
製作承認年	1980年	師匠名	▲▲		
住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地				
TEL (FAX)	電話	××-×××-××××	FAX がありましたら	××-×××-××××	
Email	××××@××××.jp				

①受賞歴 (平成元年～平成30年)  
ください

該当する□にはチェックを入れて

<input checked="" type="checkbox"/> 日本美術刀剣保存協会無鑑査	<input checked="" type="checkbox"/> 日本刀文化振興協会名匠	<input type="checkbox"/> 全日本刀匠会特待者	
(公財) 日本美術刀剣保存協会主催展覧会			
無鑑査出品 20回	最高賞 (正宗賞) 1回	特賞最高賞 2回	特賞 5回
優秀賞 5回	努力賞 2回	入選 1回	新人賞受賞□
(公財) 日本刀文化振興協会主催展覧会			
審査員・招待出品 8回	特賞最高賞 1回	特賞 1回	
金賞 2回	銀賞 2回	銅賞 1回	
佳作 0回	入選 0回	新人賞受賞 □	
全日本刀匠会主催展覧会			
審査員・招待出品 9回	最高賞 (日立金属賞) 1回	特賞最高賞 2回	特賞 2回
入賞 0回	佳作 0回	入選 0回	新人賞受賞□
国・地方公共団体等の表彰 (賞の名称と受賞した年度をお書きください)			
文部科学大臣表彰 2016年 〇〇県無形文化財 2013年 〇〇市文化賞 2010年			
(国→県→市町村→一般の順でお書き下さい。)			

## ②伝承者養成活動歴 (平成元年～平成30年)

製作承認認可を受けた弟子	( 5 ) 人
講習会講師・受講参加歴	
文化庁主催美術刀剣刀匠技術保存研修会講師5回 (文化庁主催美術刀剣刀匠技術保存研修会受講・修了は記載の必要はありません)	
〇〇県文化振興事業講師5回	
日本美術刀剣保存協会主催作刀研修会講師3回	
(国→県→市町村→一般の順でお書き下さい。)	

## ③普及教育活動歴 (美術館・博物館等の普及教育活動参加歴をお書きください・平成元年～平成30年)

国立〇〇美術館▲▲展開催 平成2010年	(国→県→市町村→一般の順でお書き下さい。)
県立〇〇大学××共同研究 平成2008年	
〇〇法人小学校課外授業 20回	

## ④個展等個人の作品発表活動歴 (平成元年～平成30年)

各県の未登録審査員歴・各団体の経験役職名もここにお書き下さい。
▲▲個展10回

※枠内に入らない場合は、項目番号②～④毎の別紙に記載ください。

※内容は箇条書きにして、同じ内容のものは回数を記入ください。

※既定の別紙以外の物は添付しないで下さい。写真の使用記載も不可。